

# 中学校【国語科】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

## 1 主体的・対話的で深い学び（中学校学習指導要領解説 総則編 P78 一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、**見通しをもつて粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。**
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、**自己の考えを広げ深める。**
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して**考えを形成したり**、問題を見いだして**解決策を考えたり**、思いや考えを基に**創造したり**することに向かう。

## 2 言葉による見方・考え方（中学校学習指導要領解説 国語編）

生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、**言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして**、言葉への自覚を高めること。

## 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例

	【主体的な学び】	【対話的な学び】	【深い学び】
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自ら本時の学びに興味や関心を持たせ、<b>見通し</b>を立てられるようにする。</li> <li>サンプル検討やモデル検討から、<b>自己課題</b>を見出したり、<b>読む視点</b>を示したりすることで、<b>新たな問い</b>を立てたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師やゲストティーチャーとの対話によって、本時の学習課題や自らの問いを見出せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>深めの発問</b>や仲間からの<b>新しい視点</b>の投入によって生徒の認識をゆさぶり、今までにない<b>考えを形成できる</b>よう単位時間を仕組むようにする。</li> </ul>
<p>前時からのつながりや新たな問い、終末の言語活動に向けてなど、<b>学ぶ目的の中から課題点や身に付けたいこと</b>を見出し、学習課題を設定していく。</p>			
深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自ら粘り強く取り組み、取り組む視点を明確にしたり、机間指導での声かけをしたりする。</li> <li>生徒自ら試行錯誤しながらよりよい表現を見付けたり、分析・評価し論述したりできるようにする。</li> <li>本時の<b>学びを一般化</b>し、生徒自身のまともにつなげられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章との対話によって自分の考えを持てるようにする。</li> <li>ペア、グループ、一斉、スクランブル等、生徒の<b>思考が働くように</b>様々な形態で追究することで、<b>仲間の学びのよさや新しい考えが見える</b>ようにする。</li> <li>黒板やホワイトボード、付箋等を使用したりして、<b>着目した言葉</b>などを視覚化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」や「書くこと」では、記録データや以前に書いた物等と比較することで<b>自己の変容を自覚させる</b>。</li> <li>「読むこと」では、課題を追究できたのか、初めの読みと仲間と追究した後の読みとの<b>変容</b>はあるかを確認する。</li> <li>習得したことに何度も取り組み、身に付けた知識・技能が<b>生きて働くもの</b>になるように単元や言語活動を設定する。</li> </ul>
<p>生徒が自身の<b>変容を実感する</b>とともに、活動内容だけにとどまらず、<b>誰のどんな言葉で深まったのか</b>という視点でも振り返られるようにする。</p>			
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時学んだことを<b>言葉で振り返り、自身の学びを自覚</b>（発揮）できる場面を設定する。</li> <li><b>次時への追究意欲</b>をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互評価のときには、仲間のよさを見付け、交流できるような<b>評価の視点</b>を与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>学びの変容を実感する</b>自己評価や、<b>仲間のよさを見付ける</b>相互評価によって学びの実感を得られるようにする。</li> </ul>

「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養